

病虫害発生予察情報
8月月報

令和6年9月19日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2024年 8月	気温（℃）						降水量		日照時間	
	最高		最低		平均		（mm）		（h）	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比 （％）	本年	平年比 （％）
上旬	35.1	2.6	25.1	1.4	29.2	1.7	33.5	113.2	78.2	123.0
中旬	34.8	3.1	25.7	2.3	29.7	2.7	98.0	159.9	77.3	135.6
下旬	32.0	1.2	24.9	2.4	27.6	1.5	305.0	369.2	43.1	75.1
平均	34.0	2.3	25.2	2.0	28.8	2.0				
合計							436.5	251.6	198.6	111.6

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020年の平均値）からの差（比）

＜天候概況＞

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の後半は湿った空気の影響で雨の降る日があった。7日は雷を伴って大雨となった。

中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の後半は台風や湿った空気の影響で雨や雷雨となる日もあった。16日は台風第7号の影響で大雨となった。

下旬：晴れた日もあったが、期間を通して湿った空気の影響を受けやすかったため、曇りや雨の日が多く、雷を伴う日もあった。29日から30日にかけては台風第10号の周辺や太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気が流れ込んだため大雨となり、都内で浸水等の被害があった。

2 作物生育概況

- （1）イネ
例年よりも生育が早まり、収穫も早まる見込みである。一部で内穎褐変病が目立っている。
- （2）野菜類
果菜類：ナスは生育が概ね例年通りであるが、「つやなし果」「ぼけなす」の発生が多かった。エダマメでは高温障害とみられる不稔莢等の発生が目立った。
葉菜類：キャベツでは高温による苗の生育不良、活着不良がみられた。コマツナも高温による発芽不良がみられた。
根菜類：ニンジン、ダイコンは一部の地域で集中豪雨の影響で発芽不良や生育不良が発生した。
イモ類：サトイモの生育は概ね順調であった。
- （3）果樹
農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ

内) は以下のとおり。

ブドウ：‘高尾’で収穫始めは平年通りとなった。

‘高尾’収穫始 8月22日(±0日)

ナシ：収穫始めは、‘幸水’、‘稲城’、‘秀玉’で0～3日遅くなった。

‘幸水’収穫始 8月14日(±0日)

‘稲城’収穫始 8月27日(+3日)

‘秀玉’収穫始 8月27日(+1日)

(4) 茶樹

今年は雨が多く、温度も高いため雑草管理が大変だった。生育は例年どおり。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	<やや少>	発生はやや少なかった。
紋枯病	<やや少>	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	<少>	発生は少なかった。
イネツトムシ	<少>	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	<やや少>	発生はやや少なかった。
ヒメトビウンカ	<やや多>	発生はやや多かった。
セジロウンカ	<少>	発生は少なかった。
トビイロウンカ	<少>	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	<少>	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ		
アブラムシ類	<少>	発生は少なかった。
ニセナシサビダニ	<少>	発生は少なかった。
ハダニ類	<やや少>	発生はやや少なかった。
果樹共通		
カメムシ類	<並>	発生は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	<やや多>	発生はやや多かった。
チャノコカクモンハマキ	<少>	発生は少なかった。
チャハマキ	<少>	発生は少なかった。
チャノホソガ	<少>	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ		
べと病	<少>	発生は少なかった。
うどんこ病	<少>	発生は少なかった。
ナス		
うどんこ病	<やや少>	発生はやや少なかった。

アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< 多 >	発生は多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや多 >	発生はやや多かった。
コマツナ		
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや多 >	発生はやや多かった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
サトイモ		
ワタアブラムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジスズメ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カブラヤガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

八丈島：一部のロベネットハウスにてバッタの発生が多かった。

小笠原：レモンでサビダニ類の発生はやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。